

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。



YOUR

令和6年 一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第93号

関東申信越ブロック大会(栃木)

十一月十八日栃木県宇都宮市において第五十七回の大会が開催されました。

久し振りの制限なしの対面方式で本人会も含め多くの方たちの参加があり、やはりZoomでは味わえないとても暖かい交流が感じられた大会でした。

中央情勢報告では成年後見制度の見直しについて専門会議に久保顧問が引き続き委員として参加、要望として後見利用料の軽減や身上監護の充実などの改善点を含めた提言を引き続きしていくこと。

又、グループホームの内容の充実や、地域生活への移行をめざす人や、退去後の支援をグループホームの本来業務へ位置づける(「通過型」類型を新設する)。

又、障害者差別解消法では令和六年四月一日より、民間事業者における合理的配慮の提供義務化は私たち育成会にとっても大変重要な事です。

「第一分科会」

【障害のある人をまもるために
育成会の活動を】と題して

関哉弁護士の基調講演は障害者権利条約の総括所見から障害者差別解消法を見直すことや、危険な状況及び人道上の緊急事態において、提供される避難所や仮設住宅等のサービスが年齢やジェンダーを考慮した上で障害者も含め利用しやすく、障害を包容するものであること。

又、意思決定を代行する制度を廃止する観点から、全ての障害者が法律の前にひとしく認められる権利を保障するために民法を改正すること等、様々な分野において障害当事者の参加を求めている。

このように障害のある人にとって意思決定支援がとても重要な課題であると強く感じました。

加藤 シゲヨ

「本人会」

本年から、さいたま市でも本人会(どーなつ)活動をはじめましたので、私も勉強をと思い久しぶりに息子と一緒に参加させて頂きました。

会場よりバスで那須方面に移動。天候にも恵まれて銀杏並木は紅葉し、とても綺麗でした。

また、山はうっすらと雪化粧。ほっとする時間と、なりました。

お昼は、ホテルサンパレーでのランチ。息子は、ナイフながらも楽しんでいました。その後お菓子の城で体験活動。美味しそうな本物そっくりのデコスイーツ作りを楽しみました。



貴重な体験が出来て感謝です。

星野 美子

総務

第一回みんなでセミナー

十月六日、レイボックホールで開催しました。以前「家族支援フォーラム」として開催していた学習会を、気軽に参加していただけるよう名称変更し、再スタートしました。

記念すべき第一回目は、講師に又村あおい氏を迎え、「意思決定支援」をテーマにお話をいただきました。

まず、意思決定支援に関わる権利条約や法制度上の位置付けについて学んだ後に、意思決定を支援する際のポイントについて、身近な例を含めながら分かり易く教えていただきました。

- ①体験・経験の機会
 - ②情報提供
 - ③決め方支援
 - ④表出受止め
 - ⑤意思実行サポート
- の5つのプロセスを丁寧に行う事。

そして支援者の心配や懸念事項に加え、体調や感情が含まれないよう注意する事が重要と学びました。

会場には三十一名の方がご参加いただき、講演後にアンケートをいただきましたので、何点かご紹介させていただきます。

○「本人にはわからないだろう」と決めつけて、本人抜きで決めている事が多かったと反省しました。

○本人に合った選択をして、だめだったら色々試してみる事や待つ事の大切さを学びました。

○本人・保護者・支援先がチームで意思決定支援に携わる方法を学べて良かった。
等の感想をいただきました。

次回は2月に障害基礎年金学習会を開催します。今後も様々なテーマを皆さんと一緒に学んでいけたらと思いますので、よろしく願います。
※開催場所 時間等P4に掲載しましたご参照ください。

高橋

「障害者週間」

「市民のつどい」開催

令和五年の「市民のつどい」がプラザノースで開催されました。好天に恵まれ、家族で参加する姿が多く見られました。

市民広場ではさいたま市消防音楽隊の演奏でオープニングセレモニーを大いに盛り上げて頂きました。

館内では米良美一氏の講演もあり盛況でした。二階のギャラリーでは、各団体の日頃の活動を展示・解説・体験出来る場所を提供しました。

ポッチャや卓球バレーに多くの方が参加して新しいスポーツを楽しんでいました。



次回の開催に向けて参加し易い企画を検討して行きたいと改めて思っています。

実行委員 黒澤 篤子

ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障がい者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。



★居宅介護（ホームヘルプ）
入浴・排泄・食事の介護など

★同行援護
視覚障がい者の支援

★ヘルパー募集中

★行動援護
行動上著しい困難を有する知的障がい者（児）
精神障がい者の外出の介護・危険回避のための援護

★移動支援（ガイドヘルプ）
余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援



一般社団法人 飛躍
ヘルパーステーション ほっと
さいたま市大宮区天沼町2-813
☎ 048-649-5703



祝 成人 20歳のお祝い

浦和区 1名
中央区 1名



おめでとうございます

表彰

◆令和五年度
さいたま市社会福祉協議会
会長表彰

理事 山口 明子

浦和区支部長始め、さいたま市育成会でも権利擁護委員会等で大活躍しております。

さいたま市障害者社会参加事業 「家族教室」に参加して

十一月九日「さいたま市グループホームの生活を知りたい」というテーマで、鴻沼福祉会常務理事 酒井 依子氏、岩槻区障害者生活支援センター「ささぼし」主任相談支援専門員 竹野谷 秋氏による講演会が開催されました。

当日はZOOMを含めて多数の聴講者があり、関心の高さがうかがえました。

酒井氏からはグループホームの現状や課題などについてお話しがありました。近年ではホームの利用者の高齢化が進み、看取りの状況など時々あるようですが、利用者に寄り添い献身的に向き合う様子が感じられ、頭が下がる思いがしました。

グループホームは民間企業の参入が増える一方、人手不足や支援の質の課題などありますが、実際によく見て聞いて選択していくことが大事だと思います。

続いて竹野谷氏からは支援センターの説明がありました。

支援センターは障害のある人のためのよろず相談窓口であり、安心して生活ができるように一緒に考えてくれる存在です。

グループホームの利用の仕方について事例を交えてお話がありました。

またたくさん質問が寄せられ、活発な質疑応答になりました。有意義な勉強会になったと思います。

◆頂いたアンケートからのご意見

○将来はGHと想っているながら、何もできずにいたので動き出しのきっかけになりました。

○何か困ったことがあってもどこに相談してよいか分からずいましたが、講演を聞き支援センターがその役割をしている事を知り、安心することができました。

若い世代の方も多く、将来のことを早くから考えているのに、感心しました。

谷地 直美

Otsuka 大塚食品

原材料は、雪、雨、風、
そして、シャスタという大地の力。
人間だけでは決してつukれないものがある。

Power of Nature

ここ、シャスタの山から。

第2回みんなでセミナー 『教えて!障害基礎年金』



- 開催日時 令和6年2月29日(木)10時30分~12時30分
- 開催場所 埼玉県障害者交流センターホール (JRさいたま新都心駅よりシャトルバス10分)
- 参加料金 ・育成会正会員 無料 ・会員外 500円(資料代)

■内容 DVD講演会 講師 筑波大学 人間系障害科学域助教 **大村 美保氏**
 DVD座談会 進行役 **又村 あおい氏**

☆申し込み方法☆ 右記QRコードでお申し込みください。
 または sc-your@bz03.plala.or.jp
 電話・FAX 048-654-7763 で申し込みください。

お申し込み
 QRコード→



☆申し込み締め切り☆
 2月22日(木)

発行 一般社団法人
 さいたま市をつなぐ育成会
 代表理事 加藤 シゲヨ
 〒330-0801
 さいたま市大宮区土手町
 一三三
 大宮ふれあい福祉センター内
 TEL/FAX
 〇四八六五四七七六三

E-mail
sc-your@bz03.plala.or.jp
 ホームページ
<http://www.saitamashi-ikuseikai.org/>
 フェイスブック
[@saitamashirewotsumagukuseikai](https://www.facebook.com/saitamashirewotsumagukuseikai)
 インスタグラム
[@ikuseikai2022](https://www.instagram.com/ikuseikai2022)

編集 広報委員会
 定価 五十円(会費に含む)

新年おめでとの挨拶をして、皆さん揃っての楽しい夕飯と考えている時に、地震警報がなり、ゆらゆらと少し長く揺れました。
 テレビからは能登地方で震度七の速報が流れ、津波の恐れもあり早く安全な所に避難してほしいと祈るばかりでした。
 被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。私たち一人一人ができる支援をしていきましょう。

★編集後記★

◆事務局からのお知らせ◆
 大宮ふれあい福祉センターの規模修繕に伴い、令和六年二月末までの予定で旧中央区保健センター2F(さいたま市中央区本町東四一四一三)に一時移転しました。電話・FAX・Eメールは変更ありません。ご不便をおかけしますがよろしく願います。

未来あんしんサポート

NEW 2022年1月、「定期支払金付プラン」が新登場 「つかえる楽しみ」と「のこせる安心」をお届けします

[知的障がい]や[自閉症]等の障がいのあるお子さまのために
「親なきあと」をサポートするご提案です

未来あんしんサポート

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]



株式会社ジェアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
 新宿三井ビル2号館2F
 ホームページ www.jicgroup.co.jp

[所属信託会社]

みずほ信託銀行株式会社

[生命保険引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社

MAS-A-220103

障がいのあるこの子が
 お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に
 困らないようにしてあげたい。

自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる
 お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

**「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を
 確実に未来へのこします**

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェアイシーが
 ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた
 サービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ
 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
 ジェアイシー生命保険信託相談ダイヤル
0120-580-503 通話料
 無料
 受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。●株ジェアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株ジェアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2022年1月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です



特長1

代理手続き
 代理告知が
 可能

障がいのある方向けプラン

特長2

告知対象
 疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

特長3

成年後見
 費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
 下記お問い合わせ先(取扱代理店)に
 資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]

ぜんち共済株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
 九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL:03-6910-0850 FAX:03-6910-0851
 URL:<http://www.z-kyosai.com/>
 MAIL:gan@z-kyosai.com
 (営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一東京公務課
 〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
 TEL:03-3515-4126(営業時間:平日9:00~17:00)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のトレードネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

2021年3月作成
 20-TC10720